

特別会計と企業会計の状況

市の会計には、一般会計のほか一般会計と区別して設けられた特別会計と企業会計があります。

特別会計や企業会計は、市が特定の事業を行う場合に一般会計と区別して設置し、その特定の歳入をもって特定の歳出に充てるものです。

国民健康保険特別会計

国民健康保険特別会計の平成25年度の歳入総額は87億4千万円で、前年度に比べて6億円増加したのに対し、歳出総額は、81億6千万円で、歳入総額と歳出総額を差し引いた形式収支は5億8千万円の黒字となっています。しかしながら、保険税収入が減少する一方で、保険給付費や後期高齢者支援金の支出は増加している状況であることから、今後も保険給付費抑制のための取り組みが重要です。

平成25年度特別会計決算

会計名	歳入決算額		歳出決算額
		うち 一般会計繰入金	
国民健康保険	87億4千万円	6億4千万円	81億6千万円
下水道事業	15億5千万円	6億7千万円	14億4千万円
館第一排水場	1億9千万円	1億円	1億5千万円
志木駅東口地下駐車場事業	8千万円	—	7千万円
介護保険	31億9千万円	4億1千万円	30億8千万円
後期高齢者医療	6億8千万円	9千万円	6億6千万円

介護保険特別会計

介護保険特別会計については、さまざまな介護予防事業を展開し、保険給付費の抑制に努めたことで、志木市の介護保険料は県内最低水準を維持しています。高齡化の進展により、要介護認定者数が増加傾向にあります。

こうしたことから、平成25年度の歳出総額は30億8千万円となり、2億7千万円の増加となりました。

企業会計

企業会計は、独立採算制を原則とする企業の色彩の強い事業を行う場合に、法令や条例に基づいて設置するもので、志木市では病院事業会計と水道事業会計がこれにあたります。

平成25年度病院事業損益計算書

① 医業収益	8億2,861万円
② 医業費用	14億1,337万円
医業損失(①-②)	5億8,476万円
③ 医業外収益	9億4,273万円
④ 医業外費用	2,777万円
経常利益 (医業利益+③-④)	3億3,020万円
⑤ 特別利益	0万円
⑥ 特別損失	2,452万円
当年度純利益 (経常利益+⑤-⑥)	3億568万円
前年度繰越欠損金	2億6,011万円
当年度末処分利益剰余金	4,557万円

平成25年度水道事業損益計算書

① 営業収益	12億2,679万円
② 営業費用	10億4,713万円
営業利益(①-②)	1億7,966万円
③ 営業外収益	526万円
④ 営業外費用	8,340万円
経常利益 (営業利益+③-④)	1億152万円
⑤ 特別利益	113万円
⑥ 特別損失	263万円
当年度純利益 (経常利益+⑤-⑥)	1億2万円
前年度繰越利益剰余金	0万円
当年度末処分利益剰余金	1億2万円

各年度末の市債残高の推移

会計名	平成23年度末	平成24年度末	平成25年度末	
一般会計	130億6千万円	132億円	148億円	
特別会計	下水道事業	80億6千万円	74億6千万円	68億9千万円
	館第一排水場	4億6千万円	4億4千万円	4億2千万円
	志木駅東口地下駐車場事業	3億7千万円	3億4千万円	3億円
企業会計	水道事業	36億4千万円	34億5千万円	32億6千万円
	病院事業	3億8千万円	3億4千万円	0円
市全体	259億7千万円	252億2千万円	256億7千万円	
市民一人あたり残高	36万円	35万円	35万円	

市債の残高は、普通建設事業費が増加したことなどにより、昨年比で4億5千万円増加しました。これを、市民一人あたりに換算すると、平成24年度末と同額の約35万円となります。今後も、財政負担を考慮しながら、計画的な借入と返済を行ってまいります。